

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は雄大な十勝平野で生まれ育ち、大学では室蘭市で土木工学を学びました。

卒業後はゼネコンに就職しましたが、縁あって苫小牧市役所に転職し、道路部署で3年間過ごした後に、現在も所属している下水道部署へ異動となり、気が付けば10年目に突入しました。

主に終末処理場・ポンプ場の設計や施工監理を担当していますが、計画関連の業務をかじりつつ、「マンホールカード」や「デザインマンホール蓋」の企画など、下水道広報活動にも力を注いでいます。

技術士という資格には憧れがあり、いつかは取得したいと考えていました。しかし、資格の中でも難易度が高く、経験年数も必要となることから、積極的になれませんでした。しかし、知人が難関資格を取得したことが契機となり、2019年(令和元年)から受験した結果、無事合格することができました。

プライベートでは、子供達がまだ小さいため、週末は自宅や公園などで一緒に遊ぶことばかりですが、自分の趣味であるバスケットボールやバイクでのツーリングができる日を夢見て、少しずつお金と体力を取り戻しています。(が、いずれもうまくいきません・・・)

また、最近ではコーヒーに夢中です。数年前は「苦くて飲むものでない」と思っていたのですが、今ではコーヒー豆を選ぶ楽しさを覚えるまでに成長しました。下水道も同様に、最初は「臭くて汚くてつまらない」と感じていたものが、今では水処理や汚泥処理について学ぶことが楽しくなりました。

コーヒーも下水道もまだまだ知らないことが沢山あるので、今後も日々の自己研鑽を忘れずに邁進していきます！

菊地 健元 (きくち たけゆき)

●上下水道部門(下水道)

勤務先

苫小牧市役所



→次号は、塩見 武さん(建設/総合監理部門)

今回は大学の同期、ITO 技術士事務所の伊藤君から紹介をもらいました。技術士になろう！と思うきっかけとなった仲間の紹介であり、大変うれしい限りです。私は、建設コンサルタント業に就いて今年で22年目。道路設計を軸に、道路構造物設計、農業土木設計など幅広い分野の設計業務に携わりました。新人の頃はプラニメーターによるスケール設定間違いの求積、青焼き印刷で原図

をグチャグチャにするなど、失敗の思い出ばかりです。現在は20年のキャリアを経て、2019年(令和元年)から北武コンサルタントに勤務しています。入社3割、テレワーク7割と恵まれた労働環境の中で、担当業務以外には、業務管理、若手技術者の指導、学会活動。最近は部署の運営なども。新しい働き方にて、日々の課題を適宜克服する難しさを実感する一方、若手技術者の成長や私自身のスキルアップを感じることが実に多く、やりがいを感じているところであり、次の目標も見えてきました。ちなみに、自宅の仕事部屋は2畳と狭いので集中できます。入社も話題が溜まっているので皆でワイワイやっています。プライベートは、2年前から始めた家庭菜園で野菜と果物を栽培しています。イチゴは苗を植える時期が遅かったせいか1個も収穫できず失敗。野菜はたくさん収穫できましたのでラタトゥイユ、アヒージョ、トマトソースなどに料理しました。時間のある時は仕込みに時間をかけ、出来たてを食べてもらえるように工夫したりなど、趣味で取得した調理師免許がコロナ禍の内食で少し役に立つようになりました。美味しい料理(完全に自己満足です)は家族の会話も少しは良くなります。最後に、執筆の機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。技術士会の皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

河村 容輔 (かわむら ようすけ)

●建設部門(道路)

勤務先

北武コンサルタント株式会社



→次号は、菅原正則さん(建設部門)